

# 徳島市 男女共同参画に関する市民意識調査 ～ ご協力のお願ひ ～

市民の皆様には、日頃から市政にご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

本市では、平成29年3月、男女それぞれの人権が尊重され、一人ひとりの個性と能力が発揮できる男女共同参画社会の実現を目的に、男女共同参画プラン・とくしま（第3次）を策定しました。このたび、次期プラン（第4次）の策定に向けた基礎資料とするための男女共同参画に関する市民意識調査を実施することといたしました。

この調査は、徳島市内にお住まいの18歳以上の方の中から1,300人を無作為に抽出し、調査票をお送りしています。回答の内容は、統計的に処理を行い分析のみに使用しますので、ご回答いただいた方の個人が特定されることはありません。また、調査の結果は他の目的に使用することは決してありません。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

令和4年2月

徳島市長 内藤 佐和子

## ■記入上の注意

1. 調査票は、必ず宛て名のご本人が、お答えください。
2. ご記入は、ボールペンや鉛筆などで、はっきりと書いてください。
3. 各質問のあてはまる回答の番号を○で囲んでください。「その他」のときは、（ ）内に具体的な内容を記入してください。
4. ○をつける数を指定している場合は、その指定に従ってお答えください。

<お問い合わせ先>

この調査でご質問などがありましたら、下記までお問い合わせください。

徳島市役所 市民文化部 男女共同参画センター

所在地：〒770-0834 徳島市元町1丁目24番地 アミコビル4階

電話：088-624-2611 ファクス：088-624-2612

メールアドレス：danjo\_center@city-tokushima.i-tokushima.jp

ご記入いただいた調査票は、無記名のまま、**3月3日(木)**までに  
同封の返信用封筒に入れ、切手をはらずに郵便ポストに入れてください。





## 2. 男女平等意識についておたずねします。

問1 あなたは、次の分野で男女の地位は平等になっていると思いますか。それぞれの分野ごとに、あなたのお考えに最も近いものをお答えください。【①～⑧ごとに、それぞれ1つに○印】

	男性の方が優遇されている	どちらかといえば男性の方が優遇されている	平等である	どちらかといえば女性の方が優遇されている	女性の方が優遇されている	わからない
① 家庭生活では	1	2	3	4	5	6
② 職場では	1	2	3	4	5	6
③ 学校教育の場では	1	2	3	4	5	6
④ 地域社会(町内会・自治会など)では	1	2	3	4	5	6
⑤ 法律や制度の上では	1	2	3	4	5	6
⑥ 政治の場では	1	2	3	4	5	6
⑦ 社会通念・慣習・しきたり等では	1	2	3	4	5	6
⑧ 社会全体では	1	2	3	4	5	6

問2 あなたは、「夫は外で働き、女は家庭を守るべき」という考え方についてどのように思いますか。  
【いずれか1つに○印】

1. 賛成 2. どちらかといえば賛成	→ 問2-②へ
3. どちらかといえば反対 4. 反対	
5. わからない	→ 問3へ

<問2-①は、問2で「1.賛成」、「2.どちらかといえば賛成」を選択した方のみお答えください>

→ 問2-① あなたがそう思う理由を選んでください。【あてはまるものすべてに○印】

1. 日本の伝統的な家族の在り方だと思うから 2. 自分の両親も役割分担をしていたから 3. 夫が外で働いた方が、多くの収入を得られると思うから 4. 妻が家庭を守った方が、子供の成長などにとって良いと思うから 5. 家事・育児・介護と両立しながら、妻が働き続けることは大変だと思うから 6. その他( ) 7. 特にない 8. わからない
---

<問2-②は、問2で「3. どちらかといえば反対」、「4. 反対」を選択した方のみお答えください>

問2-② あなたがそう思う理由を選んでください。【あてはまるものすべてに○印】

1. 男女平等に反すると思うから
2. 自分の両親も外で働いていたから
3. 夫も妻も働いた方が、多くの収入が得られると思うから
4. 妻が働いて能力を発揮した方が、個人や社会にとって良いと思うから
5. 家事・育児・介護と両立しながら、妻が働き続けることは可能だと思うから
6. 固定的な夫と妻の役割分担の意識を押しつけるべきではないから
7. その他( )
8. 特にない
9. わからない

<すべての方がお答えください>

問3 あなたは、「女性であること」又は「男性であること」によって、負担感や生きづらさを感じたことがありますか。【いずれか1つに○印】

1. ある      2. ない      3. わからない

<問3-①は、問3で「1.ある」を選択した方のみお答えください>

問3-① あなたがそう思う理由を選んでください。【あてはまるものすべてに○印】

1. なにかにつけ「男だから、女だから」「男のくせに、女のくせに」と言われる
2. 自分のやりたい仕事を自由に選べないことがある
3. 仕事と家事・育児・介護を両立する負担が大きい
4. 「妻子を養うのは男の責任だ」と言われる
5. 「男なのに酒が飲めないのか」「力が弱い」「運動が苦手だ」とバカにされたり、からかわれる
6. 仕事の責任が大きい、仕事ができで当たり前と言われる
7. 責任のある仕事を任せてもらえない、決定権のある役職に就けない
8. 家事、育児ができで当たり前と言われる
9. 女性はやさしくて、よく気がつき、従順であることを求められる
10. その他( )

<すべての方がお答えください>

問4 結婚について、あなたはどのように考えますか。【①～⑤ごとに、それぞれ1つに○印】

	そう 思う	ば そう 思う	ど ちら か と い え	ど ちら か と い え	そ う 思 わ な い	わ か ら な い
① 結婚は個人の自由であるから、してもしなくてもどちらでもよい	1	2	3	4	5	
② お互いが合意していれば、必ずしも婚姻届を出す必要はない	1	2	3	4	5	
③ 夫婦の姓が異なる結婚(夫婦別姓)が認められてもよい	1	2	3	4	5	
④ 結婚しても相手とうまくいかないときは、離婚してもよい	1	2	3	4	5	
⑤ 結婚しても必ずしも子どもを持つ必要はない	1	2	3	4	5	

### 3. 家庭や地域における活動・役割分担についておたずねします。

問5 あなたは、次にあげるような家庭でのことがらは、夫婦でどのようにするのが望ましいと思いますか。

【①～⑪ごとに、それぞれ1つに○印】

	自分と配偶者が半々	主に自分	主に配偶者	家族で協力	その他
① 生活費を稼ぐ	1	2	3	4	5
② 掃除・洗濯	1	2	3	4	5
③ 食事のしたく	1	2	3	4	5
④ 食事の後片づけ・食器洗い	1	2	3	4	5
⑤ 買い物	1	2	3	4	5
⑥ 子どもの世話	1	2	3	4	5
⑦ 子どものしつけ・教育	1	2	3	4	5
⑧ 家族の看護・介護	1	2	3	4	5
⑨ 自治会・町内会等の活動	1	2	3	4	5
⑩ 近所や親戚とのつきあい	1	2	3	4	5
⑪ 日常の家計管理	1	2	3	4	5

<問6は『結婚している』又は『パートナーと暮らしている』方のみお答えください>

問6 実際のあなたの家庭では、次のことがらをだれが分担をしていますか(⑥⑦⑧については該当する方のみ)。【①～⑪ごとに、それぞれ1つに○印】

	自分と配偶者が半々	主に自分	主に配偶者	家族で協力	その他
① 生活費を稼ぐ	1	2	3	4	5
② 掃除・洗濯	1	2	3	4	5
③ 食事のしたく	1	2	3	4	5
④ 食事の後片づけ・食器洗い	1	2	3	4	5
⑤ 買い物	1	2	3	4	5
⑥ 子どもの世話	1	2	3	4	5
⑦ 子どものしつけ・教育	1	2	3	4	5
⑧ 家族の看護・介護	1	2	3	4	5
⑨ 自治会・町内会等の活動	1	2	3	4	5
⑩ 近所や親戚とのつきあい	1	2	3	4	5
⑪ 日常の家計管理	1	2	3	4	5

<すべての方がお答えください>

問7 あなたは、地域活動や市民活動に現在参加していますか。【いずれか1つに○印】

1. 参加している
2. 参加していない

<問7-①、問7-②は、問7で「1.参加している」を選択した方のみお答えください>

▶問7-① あなたが参加している地域活動はどのような活動ですか。【あてはまるものすべてに○印】

1. 自治会(地区)・PTA・子ども会・老人クラブなどの活動
2. 趣味・学習・スポーツ活動
3. 防犯・防災活動
4. まちづくりなどの活動
5. ボランティア活動(NPO活動などを含む)
6. 消費生活活動、リサイクルなどの環境保全活動
7. ホームステイの受け入れや海外ボランティアなど国際交流活動
8. その他( )

▶問7-② あなたは、地域活動等の現状について、どのように思いますか。  
【あてはまるものすべてに○印】

1. 男性の参加が少ない
2. 団体の会長に男性がつき、女性は補助的役職につく慣行がある
3. 活動の準備や後かたづけ等は、女性がやる慣行がある
4. 会議などで女性が発言しにくい雰囲気がある
5. 女性は役員などの責任のある仕事につきたがらない
6. 男女が平等に活動している
7. その他( )

<すべての方がお答えください>

問8 あなたは、地域の防災(災害対応)活動を推進するにあたり、どのようなことが必要だと思えますか。  
【あてはまるものすべてに○印】

1. 防災は男女がともに担うものであるという意識を、男女双方が持てるように行政や地域で取り組む
2. 防災は男性が活躍する分野なので、女性の視点を含める必要はない
3. 地域の防災活動について、女性、高齢者、障がい者、子どもなどの視点で、考えていく必要がある
4. 自主防災組織等への女性の参画を促進する
5. 防災は行政の役割であり、個人や地域で取り組む必要はない
6. その他( )
7. わからない

問9 あなたは、今後男性が女性とともに、家事、子育て・介護、地域活動などに、積極的に参加していくには、どのようなことが必要だと思いますか。【あてはまるものすべてに○印】

1. 男性が家事・育児などに参加することに対する男性自身の抵抗感をなくすこと
2. 男性が家事・育児などに参加することに対する女性の抵抗感をなくすこと
3. 夫婦や家族間でのコミュニケーションをよくはかること
4. 年配者やまわりの人が、夫婦の役割分担などについての当事者の考え方を尊重すること
5. 社会の中で、男性による家事・育児などについても、その評価を高めること
6. 男性による家事・育児などについて、職場における上司や周囲の理解を進めること
7. 労働時間短縮や休暇制度、テレワークなどのICTを利用した多様な働き方を普及することで、仕事以外の時間をより多く持てるようにすること
8. 男性の家事・育児などについて、啓発や情報提供、相談窓口の設置、技能の研修を行うこと
9. 男性が家事・育児などを行うための、仲間(ネットワーク)作りをすすめること
10. その他 ( )
11. 特に必要なことはない

#### 4. 就業や仕事についておたずねします。

問10 あなたは、女性の仕事についてどのように思いますか。あなたが女性の場合はあなた自身について、男性の場合はあなたのパートナー(いない場合はいると仮定して)について、「(1)理想」と「(2)現実」をお答えください。【(1) (2)ごとに、それぞれ1つに○印】

##### (1) 女性の働き方の理想 【いずれか1つに○印】

1. 仕事は定年まで続ける
2. 子育ての時期に一時的にやめて、その後はフルタイムで仕事を続ける
3. 子育ての時期に一時的にやめて、その後はパートタイムで仕事を続ける
4. 子どもができたら仕事はやめる
5. 結婚したら仕事はやめる
6. 仕事はもたない
7. わからない

##### (2) 女性の働き方の現実 【いずれか1つに○印】

1. 仕事は定年まで続ける
2. 子育ての時期に一時的にやめて、その後はフルタイムで仕事を続ける
3. 子育ての時期に一時的にやめて、その後はパートタイムで仕事を続ける
4. 子どもができたら仕事はやめる
5. 結婚したら仕事はやめる
6. 仕事はもたない
7. わからない

→ 問10-①へ





問12 「仕事」と「家庭生活」、「個人の生活(地域活動・学習・趣味・付き合い等)」のバランスをうまくとるために必要なことは何だと思えますか。【あてはまるものすべてに○印】

1. 長時間労働の削減
2. 有給休暇の取得促進
3. 仕事と育児・介護との両立支援
4. フレックスタイムやテレワーク勤務などの柔軟な働き方
5. 保育・介護施設や福祉サービスの充実
6. 職場や上司の理解・協力
7. 「男性は仕事、女性は家庭」という風潮や固定観念の改善
8. 家族の理解・協力
9. 外部サービスの活用(家事代行サービス、ベビーシッターなど)
10. その他( )

問13 男性が「育児休業・介護休業制度」を利用するための妨げとなっているものは何だと思えますか。【あてはまるものすべてに○印】

1. 周囲に育児休業や介護休業を取った男性がいない
2. 職場に理解や取りやすい雰囲気がない
3. 仕事が忙しい
4. 取ると仕事上周りの人に迷惑がかかる
5. 取ると人事評価や昇給などに悪い影響がある
6. 取ると経済的に困る
7. 男性が取ることに社会全体の認識が十分でないこと
8. 取りたいと思わない
9. その他( )
10. わからない

問14 あなたは、社会全体として女性が働きやすい状況にあると思えますか。【いずれか1つに○印】

1. 働きやすい
2. ある程度働きやすい
3. あまり働きやすいとはいえない
4. 働きにくい
5. わからない

<問14-①は、問14で「3. あまり働きやすいとはいえない」又は「4. 働きにくい」を選択した方のみお答えください>

→ 問14-① そう思う理由は何ですか。【あてはまるものすべてに○印】

1. 女性が働きやすい労働条件・環境が整っていない
2. 能力発揮の場が少ない
3. 働く場が限られている
4. 育児施設・サービスが十分でない
5. 昇進・教育訓練などで男女に差がある
6. 結婚・出産退職の慣行がある
7. 男性は仕事、女性は家庭という社会通念がある
8. 家族の理解、協力が得られにくい
9. 職場や職場のまわりの人々の協力が得られにくい
10. セクシュアル・ハラスメントの被害にあうことがある
11. その他( )

## 5. 子育て・教育についておたずねします。

問15 あなたは、子どもの育て方に関する次の①～④のような考え方について、どのように思いますか。  
【①～④ごとに、それぞれ1つに○印】

	そう思う	どちらかといえば思う	どちらかといえない	そう思わない	わからない
① 女の子は女らしく、男の子は男らしく育てるのがよい	1	2	3	4	5
② 女の子も、経済的自立ができるように育てるのがよい	1	2	3	4	5
③ 男の子も、家事、育児ができるように育てるのがよい	1	2	3	4	5
④ 3歳までは、母親が子育てに専念すべきである	1	2	3	4	5

問16 あなたは、男女共同参画を進めていくために、学校教育の場では、どのようなことが重要だと思いますか。【あてはまるものすべてに○印】

1. 生活指導や進路指導において、男女の別なく能力を生かせるよう配慮する
2. 男女の平等と相互の理解や協力についての学習を充実する
3. 互いの性を尊重しあえる教育を行う
4. 研修を通して、男女平等に関する教師自身の意識を変えていく
5. 校長・教頭などに女性を積極的に登用する
6. その他( )
7. わからない

## 6. 性の多様性についておたずねします。

問17 あなたはセクシュアルマイノリティ(又はLGBT等)という言葉を知っていますか。  
【いずれか1つに○印】

1. はい
2. いいえ

問18 あなたは今までに自分の身体の性、心の性又は性的指向(同性愛など)に悩んだり、あるいは身近で悩んでいる人がいましたか。【あてはまるものすべてに○印】

- 1.自分が悩んだことがある
- 2.知人や家族が悩んでいたことがある
- 3.特にない

問19 現在、セクシュアルマイノリティ(又はLGBT等)の方々にとって、偏見や差別などにより、生活づらい社会だと思いますか。【いずれか1つに○印】

1. 思う
  2. どちらかといえば思う
  3. どちらかといえば思わない
  4. 思わない
  5. わからない
- 問19-①へ

<問 19-①は、問 19 で「1.思う」又は「2.どちらかといえば思う」を選択した方のみお答えください>

問19-① あなたは、セクシュアルマイノリティ(又はLGBT等)の方々に対する理解の促進や支援に  
はどのようなことが必要だと思いますか。【あてはまるものすべてに○印】

- |                         |  |
|-------------------------|--|
| 1. いじめや差別を禁止する法律や制度の見直し |  |
| 2. 職場や学校等における理解の促進      |  |
| 3. 専門相談窓口の充実            |  |
| 4. 行政機関による啓発や広報活動の推進    |  |
| 5. 申請者などの性別欄を削除するなどの配慮  |  |
| 6. その他( )               |  |
| 7. 必要だと思わない             |  |
| 8. わからない                |  |

**7. 男女の人権に関する問題についておたずねします。**

問20 あなたは、次のようなことが、夫婦や恋人の間で行われた場合、それを暴力だと思いますか。  
【①～⑫ごとに、それぞれ1つに○印】

	どんな場合にも 暴力にあたると思う	暴力にあたる場合もそうで ない場合もあると思う	暴力にあたるとは思わない
① 平手で打つ	1	2	3
② 足でける	1	2	3
③ 体を傷つける可能性のあるものでなぐる	1	2	3
④ なぐるふりをしておどす	1	2	3
⑤ 刃物などをつきつけておどす	1	2	3
⑥ いやがっているのに性的な行為を強要する	1	2	3
⑦ 見たくないのにポルノビデオや雑誌を見せる	1	2	3
⑧ 何を言っても長時間無視し続ける	1	2	3
⑨ 交友関係や電話を細かく監視する	1	2	3
⑩ 「誰のおかげで生活できるんだ」、「役立たず」などと言う	1	2	3
⑪ 大声でどなる	1	2	3
⑫ 生活費を渡さない	1	2	3

問21 ドメスティック・バイオレンス(DV)は、配偶者や恋人など親密な関係にある相手からの暴力のことで、身体的・精神的・経済的暴力など様々な形があります。暴行などに当たる行為は犯罪であり、重大な人権侵害です。あなたはこれまでにこのような暴力を経験したり、見聞きしたことがありますか。

【あてはまるものすべてに○印】

1. 自分が直接経験したことがある
2. 自分のまわりに経験した人がいる
3. 一般的な知識として知っている
4. 詳しくはわからないが、言葉としては聞いたことがある
5. チラシやパンフレットなどで見たことがある
6. ドメスティック・バイオレンスのことを全く知らなかった

<問21-①は、問21で「1. 自分が直接経験したことがある」又は「2. 自分のまわりに経験した人がいる」を選択した方のみお答えください。>

▶ 問 21-① あなたは、経験したことや見聞きしたことを、誰かに打ち明けたり、相談したりしましたか。

【あてはまるものすべてに○印】

1. 家族や親戚に相談した
2. 友人や知人に相談した
3. 警察に連絡・相談した
4. 徳島市男女共同参画センター（旧名称：徳島市女性センター）※で相談した
5. 徳島県中央こども女性相談センターで相談した
6. 女性の人権ホットライン（徳島地方法務局）で相談した
7. 医療関係者（医師・看護師など）に相談した
8. 弁護士に相談した
9. その他（ )
10. どこ（だれ）にも相談しなかった

※令和3年4月1日から組織改編のため、施設の名称を「徳島市女性センター」から「徳島市男女共同参画センター」に変更

<問21-②は、問21-①で「10. どこ(だれ)にも相談しなかった」を選択した方のみお答えください。>

▶ 問21-② どこ(だれ)にも相談しなかったのは、どんな理由からですか。

【あてはまるものすべてに○印】

1. どこ(だれ)に相談してよいかわからなかったから
2. 相談する相手がいなかったから
3. 恥ずかしくて誰にも言えなかったから
4. 相談してもむだと思ったから
5. 相談したことがわかると、仕返しを受けたり、もっとひどい暴力を受けると思ったから
6. 自分さえがまんすれば、なんとかこのままやっているとあったから
7. 世間体が悪いから
8. 他人を巻き込みたくなかったから
9. 相談するほどのことではないと思ったから
10. 自分にも悪いことがあると思ったから
11. その他( )

<すべての方がお答えください>

問22 あなたは、ドメスティック・バイオレンス(DV)について相談できる窓口としてどのようなものを知っていますか。【あてはまるものすべてに○印】

1. 警察
2. 徳島地方法務局
3. 徳島県中央こども女性相談センター
4. 徳島市男女共同参画センター(旧名称:徳島市女性センター)※
5. 民間の機関(弁護士会、民間シェルターなど)
6. その他( )
7. 相談窓口として知っているところはない

※令和3年4月1日から組織改編のため、施設の名称を「徳島市女性センター」から「徳島市男女共同参画センター」に変更

問23 あなたは、ドメスティック・バイオレンス(DV)の防止や、被害者支援への取組として、どのようなことが必要だと思いますか。【あてはまるものすべてに○印】

1. 暴力をふるう加害者への対策を進める
2. 被害者を保護する体制を整備する
3. 被害者が自立して生活できるように支援する
4. 相談機関を充実させる
5. 被害者が援助を求めやすくするために情報を提供する
6. 被害者の一時保護などを行う「シェルター※」を設置する
7. 暴力防止のための啓発を進める
8. その他( )

※シェルター：暴力を受けた被害者が緊急一時的に避難できる施設

## 8. 新型コロナウイルス感染症の仕事や生活への影響についておたずねします。

問24 新型コロナウイルス感染症拡大以前(概ね2020年4月以前)と、現在の仕事や生活の状況を比べて、次のようなことがありますか。【あてはまるものすべてに○印】

- |                              |                         |
|------------------------------|-------------------------|
| 1. 就業時間が増えた                  | 2. 就業時間が減った             |
| 3. 在宅勤務やテレワークが増えた            | 4. 時差出勤など柔軟な働き方になった     |
| 5. 残業が増えた                    | 6. 残業が減った               |
| 7. 転職した                      | 8. 仕事を失った               |
| 9. 自分の収入が増えた                 | 10. 自分の収入が減った           |
| 11. 家計収入が増えた                 | 12. 家計収入が減った            |
| 13. 家事や育児、介護の負担が増えた          | 14. 家事や育児、介護の負担が減った     |
| 15. 家庭内のけんかや言いあそいが増えた        | 16. 家庭内のコミュニケーションがよくなった |
| 17. 精神的に不安定になった、イライラすることが増えた |                         |
| 18. 生活に対する不安が大きくなった          |                         |
| 19. 上記のどれもない                 |                         |

## 9. 男女共同参画社会の実現についておたずねします。

問25 男女共同参画社会※を形成していくため、今後、行政はどのようなことに力を入れていくべきだと思いますか。【あてはまるものすべてに○印】

1. 法律や制度の面での見直しを行う
2. 女性を政策決定の場に積極的に登用する
3. 各種団体の女性のリーダーを養成する
4. 職場における男女の均等な取り扱いについて、周知徹底を行う
5. 女性の就労の機会を増やしたり、女性の進出を促進するため、職業教育や職業訓練を充実させる
6. 男女がともに家庭と仕事を両立できるような労働環境の整備を行う
7. 保育所や児童クラブなどの施設や育児サービス、制度を充実させる
8. 高齢者や障害者に対する施設や介護サービス、介護支援を充実させる
9. 学校教育や社会教育等の生涯教育の場で、男女の平等と相互の理解や協力についての学習を充実させる
10. 男女の生き方に関する情報提供や交流の場、相談、教育などのセンターを充実させる
11. 女性に対する暴力を根絶するための取組を進める
12. 広報誌やパンフレットなどで、男女の平等と相互の理解や協力についてPRする
13. その他 ( )

※男女共同参画社会とは、男女が、互いにその人権を尊重しつつ責任を分かち合い、性別にかかわらず、その個性と能力を十分に発揮し、あらゆる分野に参画できる社会(男女共同参画社会基本法抜粋)

## 10. 男女共同参画に関する言葉などについておたずねします。

問26 あなたは、次の言葉や法律を知っていますか。【①～⑥ごとに、それぞれ1つに○印】

	知っている	聞いたことはある	知らない
① 男女共同参画社会	1	2	3
② ポジティブアクション(積極的改善措置)	1	2	3
③ 男女雇用機会均等法	1	2	3
④ 女性活躍推進法	1	2	3
⑤ 仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)	1	2	3
⑥ DV(配偶者等からの暴力)	1	2	3

## 1 1. 徳島市男女共同参画センター※についておたずねします

問27 あなたは、「徳島市男女共同参画センター(旧名称:徳島市女性センター)」を利用したことがありますか。【いずれか1つに○印】

1. 実際に利用したことがある
2. 利用したことはないが、名称は知っている
3. 知らなかった

※令和3年4月1日から組織改編のため、施設の名称を「徳島市女性センター」から「徳島市男女共同参画センター」に変更

## 男女共同参画についてのご意見

男女共同参画に関する事で、何かご意見がございましたら、ご自由にお書きください。


**質問は以上で終わりです。ご協力ありがとうございました。**

**記入もれがないか、もう一度ご確認のうえ、同封の返信封筒に入れ、切手を貼らずに、3月3日(木)までに、ポストに投函してください。**